

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	事務事業の見直し			事業番号	40-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	企画部行政経営担当	酒井 哲也	経営企画課	成田 勝也	

計 画 (Plan)

総合計画体系	自治力	まちづくり目標	5	みんなで考え行動するまち	
		基本政策	10	市民と行政がともに力を合わせて歩むまちづくり	
		施策展開の方向	18	次代へつながる確かな行財政運営ができるまちをつくる	
		施策	40	市民に信頼される市政の推進	
予算事業名					
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務    (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成17年度	～	終了年度	
関連法令等					
国・県の計画等				計画期間	
関連個別計画	第5次行財政改革推進計画			計画期間	平成30年度～令和4年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	社会情勢の変化により行政への潜在的な需要が多様化しています。厳しい財政状況の中、持続的な行政サービスの提供を図るためには、行政運営の改善が必要とされてきています。				
目的 (何をどうしたいのか)	事務事業の有効性、効率性、必要性、実施主体などを点検し、質と量の両面から行政サービスの見直しを進めます。				
主な対象 (誰・何を対象に)	行政事務事業全般				
事業内容 (手段、手法など)	外部委員会である伊勢原市行財政改革推進委員会による行財政改革推進計画の進捗状況確認、行政内部からの事業の点検により、効果的で効率的な行政執行体制を実現します。多様な行政事務のうち、定型化や集約化が可能な業務のアウトフレームをとらえ、さらにその業務量を精査することで、効率化を推進します。				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事務事業の見直し	実施	継続実施・新規見直し	継続実施・新規見直し	
	行財政改革推進委員会の運営	運営	運営	運営	
	業務標準化	既存マニュアル精査 新規作成	運用・検証	運用・検証	
業務の洗い出し	事例研究	検討・調整	試行		
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	事務事業見直し件数	—	10件	15件	15件



事業実施 (Do)

## 事業実施 (D○)

<b>事業の「取組方針」</b> (前年度事務事業評価)	第5次行財政改革推進計画が示す取組方針に基づき、事務事業見直しの質的・量的な上積みを図っていきます。			
<b>実施方法</b> 〔選択・記入〕	● すべて直接実施                      ○ 左記以外			
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<b>委託先又は指定管理者</b>	
	<input type="checkbox"/> 補助金		<b>補助先</b>	
	<input type="checkbox"/> その他		<b>具体的内容</b>	
<b>実施結果</b>	<b>項目</b>	<b>年度</b>		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度
	事務事業の見直し	実施	実施	
	行財政改革推進委員会の運営	運営	運営	
	業務標準化	既存マニュアル精査	既存マニュアル精査	
業務の洗い出し	事例研究	事例研究		
<b>実施した取組の内容</b>	令和2年度予算編成時に、予算を伴わない事業も含めた見直しを実施しました。また、RPA導入に向けた試行を進める中で、定型業務の洗い出しを行いました。			
<b>目標の達成状況</b>	<b>【指標名】</b>	<b>【現状値】</b>	<b>年度</b>	
			平成30年度	令和元年度
	事務事業見直し件数	-	40件	34件

コスト	年度		平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績			
	<b>事業費合計 (a)</b>			0	千円		0	千円		0	千円		0	千円
内訳	国県支出金 ①		0	千円		0	千円		0	千円		0	千円	
	地方債 ②		0	千円		0	千円		0	千円		0	千円	
	その他特財 ③		0	千円		0	千円		0	千円		0	千円	
	一般財源 (a)-①-②-③		0	千円		0	千円		0	千円		0	千円	
<b>国県支出金の内容</b>														
その他特財の内容	受益者負担		○ 有      ● 無				前回の改定時期							
	その他													
人件費	正規職員		0.19	人	1,617	千円	0.2	人	1,740	千円	0	人	0	千円
	その他の職員		0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
	人件費合計 (b)		0.19	人	1,617	千円	0.2	人	1,740	千円	0	人	0	千円
<b>トータルコスト (a)+(b)</b>				1,617	千円			1,740	千円			0	千円	
単位当たりコスト	対象数	定義	市民				単位	市民				単位		
		対象数	102416				人	102,248				人		
	総事業費 / 対象数		16				円	17				円	円	

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	外部委員で構成する行財政改革推進委員会を開催し、第5次行財政改革推進計画の進捗状況の点検を行いました。また目標である15件を上回る34件の事務事業の見直しを図る一方で、取組効果額については、時間外勤務の縮減等、効果見込み額に達しない取組等もあることから、当初の想定額を下回る見込みです。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市事業内容等	近隣市においても事務事業の効率性などを検証し、行政サービスの必要性や実施主体、実施手法などの見直しに取り組んでいますが、具体的な取組方法は、各市で異なります。
有効性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 高い (A) <input checked="" type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	B	左記判断理由	第5次行財政改革推進計画に掲げた取組について、適切な進捗管理が図られるとともに、新たな経費の削減等の効果が見られました。
効率性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	B	左記判断理由	予算編成作業と合わせ、各課に事務事業の見直しを依頼したことから効率的な見直しに繋がりましたが、取組内容を精査し、取組本数を整理するなどして、さらに効率性を高めていく必要があります。



取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	事務事業の見直しにより、一定の効果はあげられていますが、取組の形骸化を避けるため、真に必要な取組を見極め、行政経営の視点をより取り込みながら事業の見直しを進める必要があります。
令和2年度の取組方針		第5次行財政改革推進計画が示す取組方針に基づき、事務事業の見直しの質的・量的な上積みを図るとともに、計画の中間見直しに着手し、取組内容の整理を行います。		
所管部長による総評		令和4年度までを計画期間とする第5次行財政改革推進計画について、効果的かつ確実な成果を挙げるため、適切な進行管理を通じて計画に盛り込まれている取組項目を着実に実行し、本市の行財政改革の取組を加速させていく必要があります。また、前期2か年分の取組による具体的な成果や課題等の総括的な検証・フォローアップを行い、必要な中間見直しを行うとともに、将来的な行財政改革のあり方の検討を進めていく必要があります。		